



平成 30 年 5 月 1 日

各 位

会社名 ヤマハ株式会社
代表者名 代表執行役社長 中田 卓也
(コード番号 7951 東証第 1 部)
問合せ先 コーポレート・コミュニケーション部長 瀧澤 勉
(TEL 03-5488-6601)

2018 年 3 月期決算の概要と 2019 年 3 月期業績予想について

□ 2018 年 3 月期 連結決算の概要 — 6 期連続の増益、過去最高利益 —

2018 年 3 月期の売上高は、全ての事業で販売が堅調に推移したことから、前期に対し 247 億円 (6.1%) 増加の 4,330 億円となりました。

損益については、営業利益は前期に対し 45 億円 (10.2%) 増加の 488 億円、経常利益は 43 億円 (9.6%) 増加の 492 億円となり、親会社に帰属する当期純利益は、77 億円 (16.4%) 増加の 544 億円となりました。各利益は 6 期連続の増益を達成し、営業利益と当期純利益は過去最高となりました。

<事業セグメント別の売上高・営業損益の状況>

・ 楽器事業 売上高 2,745 億円 (前期比 6.5%増) 営業利益 346 億円 (前期比 7.8%増)

アコースティックピアノは中国での販売が全体を牽引し、デジタルピアノは新商品の効果により売上げを伸ばしました。ポータブルキーボードは欧州向けの高価格帯商品や新興国の普及価格帯商品が好調でした。管楽器は北米での販売が堅調に推移したほか、ギターは中国および新興国での販売が伸長しました。

セグメント全体の売上高は、前期に対し 168 億円 (6.5%) 増加の 2,745 億円となりました。

営業利益は、25 億円 (7.8%) 増加の 346 億円となりました。

・ 音響機器事業 売上高 1,218 億円 (前期比 5.5%増) 営業利益 107 億円 (前期比 2.6%増)

オーディオ機器は、北米および欧州で販売が堅調に推移したほか、PA機器は、欧州および新興国で売上げを伸ばしました。ICT (情報通信) 機器は、国内での音声コミュニケーション機器の販売が好調でした。

セグメント全体の売上高は、前期に対し 63 億円 (5.5%) 増加の 1,218 億円となりました。

営業利益は、3 億円 (2.6%) 増加の 107 億円となりました。

・ その他の事業 売上高 367 億円 (前期比 4.5%増) 営業利益 35 億円 (前期比 102.4%増)

FA 機器が売上げを大きく伸ばしたほか、自動車用内装部品は、国内および北米向けの販売が伸長しました。

売上高は、前期に対し 16 億円 (4.5%) 増加の 367 億円となりました。

営業利益は、18 億円 (102.4%) 増加の 35 億円となりました。

□ 2018年3月期 ヤマハ株式会社個別業績の概要 — 増収・増益 —

2018年3月期ヤマハ株式会社個別業績については、売上高 2,311 億円（前期比 7.1%増）、営業利益 260 億円（前期比 66.5%増）、経常利益 367 億円（前期比 38.2%増）、当期純利益 475 億円（前期比 39.9%増）となりました。

□ 2019年3月期 業績予想について — 営業利益は過去最高利益の更新を予想 —

2019年3月期連結業績については、売上高 4,420億円（前期比 2.1%増）、営業利益 550億円（前期比 12.6%増）、経常利益 550億円（前期比 11.7%増）、親会社株主に帰属する当期純利益 400億円（前期比 26.4%減）を予想しております。営業利益の550億円は、2018年3月期の488億円を更新する過去最高益となります。

なお、本予想における想定為替レートは、対USドル105円、対ユーロ125円です。

注）文章中の売上高、損益の数値は、原則として億円未満四捨五入で記載しております。

以上

2018年3月期業績資料

ヤマハ株式会社
2018年5月1日

	前期実績 17年3月期	当期予想 (18/2/5発表) 18年3月期	当期実績 18年3月期	次期予想 19年3月期
売上高	4,082億円	4,320億円	4,330億円	4,420億円
国内売上高	1,384億円 (33.9%)	1,351億円 (31.3%)	1,337億円 (30.9%)	1,362億円 (30.8%)
海外売上高	2,698億円 (66.1%)	2,969億円 (68.7%)	2,992億円 (69.1%)	3,057億円 (69.2%)
営業利益	443億円 (10.9%)	500億円 (11.6%)	488億円 (11.3%)	550億円 (12.4%)
経常利益	449億円 (11.0%)	500億円 (11.6%)	492億円 (11.4%)	550億円 (12.4%)
当期利益 ^(*)	467億円 (11.4%)	570億円 (13.2%)	544億円 (12.6%)	400億円 (9.0%)
為替レート(決済レート)	108円/US\$ 121円/EUR	110円/US\$ 126円/EUR	111円/US\$ 126円/EUR	105円/US\$ 125円/EUR
ROE ^(**)	14.0%	14.8%	14.5%	10.0%
ROA ^(**)	9.4%	10.3%	10.0%	7.1%
1株当たり利益	249.2円	305.8円	291.8円	220.0円
設備投資 (減価償却費)	175億円 (111億円)	253億円 (107億円)	246億円 (108億円)	254億円 (116億円)
研究開発費	244億円	252億円	248億円	271億円
(キャッシュフロー)				
営業活動	391億円	510億円	475億円	350億円
投資活動	▲ 97億円	30億円	48億円	▲ 250億円
フリーキャッシュフロー	294億円	540億円	523億円	100億円
期末在庫高	931億円	969億円	941億円	910億円
(要員数)				
国内	5,937人	5,900人	5,845人	5,900人
海外	14,238人	14,800人	14,383人	15,400人
正社員計 ^(***)	20,175人	20,700人	20,228人	21,300人
(連結範囲変動による増減)	-	-	-	-
正社員外要員 ^(期中平均)	7,938人	7,500人	7,558人	7,700人
(事業別売上高)				
楽器	2,577億円 (63.1%)	2,735億円 (63.3%)	2,745億円 (63.4%)	2,775億円 (62.8%)
音響機器	1,155億円 (28.3%)	1,225億円 (28.4%)	1,218億円 (28.1%)	1,255億円 (28.4%)
その他	351億円 (8.6%)	360億円 (8.3%)	367億円 (8.5%)	390億円 (8.8%)
(事業別営業利益)				
楽器	321億円	355億円	346億円	395億円
音響機器	104億円	120億円	107億円	120億円
その他	17億円	25億円	35億円	35億円

(単独の状況)

売上高	2,158億円
営業利益	156億円 (7.2%)
経常利益	266億円 (12.3%)
当期利益	340億円 (15.7%)

2,311億円
260億円 (11.3%)
367億円 (15.9%)
475億円 (20.6%)

* 1 当期利益＝親会社株主に帰属する当期純利益

* 2, 3 ROE・ROAは年換算値

* 4 要員数＝期末社員在籍数

連結業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の連結業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。